



今日からあなたも、投稿者。

投稿希望者はこちら!

可児市ふるさと広報大使 塚本明里さん

全国初、市民行政一体型フェイスブック「かにすぎ」では、市民と市職員が投稿者となって市の魅力を発信しています。可児を愛するあなた。投稿者としてイベントや子育て、おすすめスポットなど、可児の情報をみんなに発信しませんか。

かにすぎ かにすぎ 可児 検索

## 図書館だより

図書館本館 (広見) ☎5120  
帷子分館 ☎8530  
桜ヶ丘分館 ☎3473

**開館時間**  
本館 火～金 午前10時～午後7時  
土日祝 午前10時～午後5時  
帷子・桜ヶ丘分館 午前9時～午後5時

**休館日**  
本館・分館共通 毎週月曜日、25日(金)  
桜ヶ丘分館 6日(日)

### 展示のご案内(本館)

#### 読書週間特集展

どんな本を読んだらいいのか分からないとき、頼りになるのが本を探すための本(ブックガイド)です。あなたにぴったりの本を探してみましょう。

期間 11月24日(木)まで

### かにっ子タイム

毎週土曜日午後2時から行います。  
○クリスマス特集「影絵人形劇」

実際に人形を使って影絵を体験することができます。

期日 12月10日(土)  
時間 午後2時～3時  
場所 図書館本館  
上演 パペットサークルかに座  
演目 可児のむかしばなし  
定員 親子50組(先着順)  
申込開始 11月16日(水)

### 新しくいった本

- 〔一般書〕  
「寝るまえの5分の外国語 語学書評集」  
黒田龍之助/著 白水社  
「I love letter」  
あさのあつこ/著 文藝春秋  
「農ガール、農ライフ」  
垣谷美雨/著 祥伝社
- 〔児童書〕  
「日本の世界遺産 イラスト図解と写真でよくわかる!」  
山口正/著 朝日新聞出版  
「マルの背中」 岩瀬成子/著 講談社  
「いつも心の中に」  
小手鞠るい/作 金の星社

## 広報番組のお知らせ

### ケーブルテレビ可児で

#### いきいきマイタウン

11/5(土)～11(金)  
ようこそ!市長室へ

11/12(土)～18(金)  
弥七田古窯跡発掘調査

11/19(土)～25(金)  
簡単!山ごはんレシピ  
災害に備えて、家庭で保存している食材をおいしく調理します。

1・2・3・4で健康づくり

11/26(土)～12/2(金)  
好きなのはカニダー

放送時刻 月～金曜日 7:00・12:00・19:00・22:00  
土・日曜日 12:00・19:00・22:00

### FMららで

#### 可児市役所からこんにちは

11/3(祝) 11:20～  
ようこそ!市長室へ

11/10(木) 11:20～

可児市ふるさと広報大使塚本明里の「あかりい話」

11/17(木) 11:20～

さつきバスを利用しよう

11/24(木) 11:20～

可児市ふるさと広報大使塚本明里の「あかりい話」

おはよう可児市役所 月～金曜日 8:00～

発見!可児の魅力 毎週土曜日 10:00～

## もう一度確認を!災害時の情報収集

### すぐメールかに

あらかじめ登録した携帯電話などのメールアドレスに、災害や気象に関する情報を配信します。そのほか、暮らしに役立つ市政情報も配信しています。

登録方法はコチラ



### 「防災無線」電話で確認サービス

専用電話番号 ☎0574(62)1548

防災無線で放送された内容を放送後に電話で確認することができます。

※通話料金が必要です。  
※防災無線放送後、24時間経過すると消去されます。

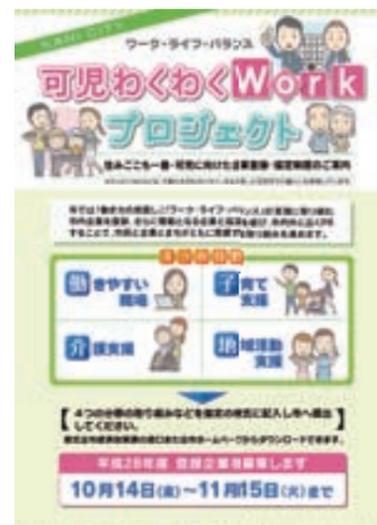


## 市長室へようこそ!



## 可児で充実ライフ

平成20年度から減少してきた可児市の人口が、平成26年度から増加に転じました。その原因のひとつに、可児市内に職場を得て、転居してくる若い世代の増加があります。私が市長に就任した翌年の平成23年度から平成27年度までに、市内に進出した企業9社の従業員数1206人と、平成22年国勢調査と平成27年同調査の人口増加数1295人も、面白い符合ですね。良質の職場と良質な住環境、これを整え情報発信することが、「住みこころ一番・可児」を目指す大切な要素です。



※詳しくは市ホームページをご覧ください。

先ず、市内企業と連携してPRし、就職先の選択のお手伝いをして、雇用と

勤続の安定につなげていきたいと思っています。職住の近接は、通勤時間の節約につながり、自分や家族のための時間が増えます。また、両親や友人が近くにいることは心強いものです。会社の中に学校の先輩後輩が多くいることが、上司と部下という関係を越えた信頼につながっているという話も聞きます。かつて、3K(きつい、きたない、きけん)といわれたり、ブルーカラーよりホワイトカラーといわれたりした職場も、機械化、ITやAIの導入で、随分と変わってきました。額に汗して働く男性の魅力が、現場男子と表現されるようになってきました。また、建設現場や製造現場で働く女性も増えてきました。

株式会社ダイニチで働く井原さんもその1人です。可児工業高校を卒業して入社。超精密金属加工の分野で、深穴加工、微細穴加工などを担当してこられました。「平面の図面にあるものが立体



株式会社ダイニチ 井原 優さん(22歳)  
穴に特化した超精密金属加工を得意とする株式会社ダイニチ(可児工業団地内)にものづくりの仕事がしたいと入社して4年目。1歳のお子さんの子育てをしながら頑張るママさんです。

可児市長 冨田 成伸

の製品になることが面白い。新しく取り組むものや特殊な材質のものを扱うときは難しいですが、他社ではできないことに挑戦することによりやりがいを感じます。通勤時間も短くありがたいです。子育てが一段落したからもっといろんな技術を身に付けたいです」と、とても前向きでイキイキとした姿が印象的です。

自分や家族の生活と、働きがいのある仕事を両立させ、地域を支えながら、可児の素晴らしい自然、歴史、文化を楽しみ、次の世代に引き継いでいきたいものです。